



平成 25 年 5 月 14 日

各 位

会社名 インフォテリア株式会社
代表者名 代表取締役社長 平野洋一郎
(コード番号:3853 東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 齊藤裕久
(TEL 03-5718-1250)

業績予想と実績との差異および剰余金の配当に関するお知らせ

平成25年4月12日に公表致しました平成25年3月期の通期業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、平成25年3月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当）について、下記の通り決議いたしましたのでお知らせ申し上げます。

記

●業績予想数値と実績値との差異について

1. 平成25年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 1,330 | 70 | 75 | 25 | 2.30 |
| 今回修正予想(B) | 1,330 | 76 | 88 | 34 | 3.18 |
| 増減額(B-A) | 0 | 6 | 13 | 9 | — |
| 増減率(%) | 0.1 | 9.8 | 17.7 | 38.6 | — |
| (ご参考)前期実績 (平成24年3月期) | 1,294 | 182 | 190 | 155 | 14.09 |

2. 差異の生じた理由

売上面につきましては、ほぼ前回予想のとおりとなりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の発生が前回発表時の見積りに比べ減少したことにより営業利益、経常利益および経常利益ともに増加いたしました。

●剰余金の配当について

1. 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (平成25年3月25日) | 前期実績 (平成24年3月期) |
|-----------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------------------|
| 基準日 | 平成25年3月31日 | 同左 | 平成24年3月31日 |
| 1株当たりの配当金 | 2円90銭 (普通配当0円70銭) (記念配当2円20銭) | 2円90銭 (普通配当1円30銭) (記念配当1円60銭) | 2円90銭 (普通配当2円90銭) |
| 配当金の総額 | 31,199,966円 | — | 32,006,549円 |
| 効力発生日 | 平成25年6月10日 | — | 平成24年6月11日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

2. 理由

当社は、会社法第454条第5項に基づき、中間配当制度を採用しており、中間配当及び期末配当の年2回、剰余金の配当を行うことが可能となっております。利益配当につきましては、当社の利益成長とそれを支える礎となる財務体質の強化が重要との認識から内部留保の充実に重点を置くとともに、業績に裏付けられた株主への利益還元も積極的に行っていくことを基本方針としております。

上記の基本方針ならびに、平成25年3月期の業績等を勘案いたしまして、1株当たり0円70銭の期末配当といたします。

また、当社は、平成24年6月22日をもちまして、東京証券取引所マザーズ市場上場5周年を迎えました。

これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

つきましては、これまでご支援をいただきました株主の皆様にご感謝の意を表すとともに、東京証券取引所マザーズ市場上場5周年を記念いたしまして、期末配当において1株当たり2円20銭の記念配当を実施し、平成25年3月期の1株当たりの期末配当予想は、0円70銭の普通配当に記念配当2円20銭を加え、2円90銭といたします。

以 上